

道心坂の「櫻守り」を募集しています

道心坂オオヤマザクラ 1,000 本並木物語 ノジコの会

古来、私たち日本人は、「桜」に限りない愛着と特別の感慨をもって接してきました。

咲き始めたときのときめき、満開の喜び、そして、散りゆく哀惜の情。

わずか一週間程度しか咲かないこの桜に、日本人の想いの全てが籠められているとって過言ではありません。

桜の花に、西行は数々の名歌を残し、芭蕉は「さまざまの事おもひ出す櫻かな」、本居宣長は「しきしまの やまと心と人間わば 朝日に匂う山桜花」と詠み、そして兵士は同期の桜を歌って出征していきました。

日本の桜は自生のヤマザクラなどは別として、そのほとんどの桜が人の手によって植えられたものです。そして、水上勉の小説「櫻守」の主人公モデルとなった笹部新太郎を例に出すまでもなく、多くの人々によって大切に守られてきたのです。

「道心坂」の桜は「オオヤマザクラ」という品種の桜です。ソメイヨシノの絢爛な白い花と異なり、紅紫色の楚々としながらも凛と咲くヤマザクラです。

この桜は、故 川俣芳衛さんがかれこれ約60年以上前に植えられたことから始まります。この歴史ある桜やかタクリ群生地を守っていくことに力を貸していただけませんか。

あなたと、あなたの子どもや孫、そして桜を愛するすべての人々のために。

【ノジコの会の活動】

○作業日 3月～11月まで。原則として毎月1回「第2日曜日」

○作業時間 3・4月、10・11月は午前9時～正午まで
5～9月は午前8時～11時まで

○活動内容 主に、下草刈、支障木の伐採、植樹（補植）

○年会費 年1,000円

○お問い合わせ・お申込み先

宗村 TEL 090-4756-8034

三条市月岡・下大浦地内の「道心坂」の桜並木は、周囲約4km、そこに約1,000本のオオヤマザクラが植えられています。

また、この自然豊かな道心坂には、美しく咲くカタクリの群生地が残されています。

ノジコの会は、このカタクリの群生地も守り育てています。